

## 情報公開文書

課題名：大腸穿孔緊急手術症例の初療における qSOFA の有用性

研究期間：倫理委員会承認日～ 2022 年 3 月 31 日

### 1. 研究の対象

2012 年 1 月から 2018 年 3 月において、当院消化器外科(以下、当科とします)で大腸穿孔(腸管の壁に穴が開いて消化液や食物・便などが消化管の外へ漏れ出している状態)に対し緊急手術を受けた方

### 2. 研究目的・方法

前述の大腸穿孔を引き起こした方では腹腔内に漏れ出した消化液内に多量の細菌が含まれるため、細菌性腹膜炎を生じやすくなります。さらに、発症早期より命の危険性を伴う重篤な状態になりうるため、早期の診断と治療介入が必要となります。今回、2012 年 1 月から 2018 年 3 月に、当科で行われました大腸穿孔の緊急手術症例を検討し、手術前に行われた検査データから重症度評価の各スコアを算出しその有用性を検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別、病歴、治療歴、術後合併症等の発生状況、血液検査データ、重症度評価、カルテ番号 等

試料: 血液 手術検体

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

### 6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である立田協太が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所: 浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター

電話: 053-453-7111(代表)

消化器外科 医師 立田 協太 (研究責任者)